

石西礁湖自然再生協議会の重点取組海域の整理について

1. 協議会の重点取組海域の整理に向けて

(趣旨)

- ・ 協議会委員が再生事業に取り組む（もしくは取り組んでいく）重要な海域を協議会の**重点取組海域**として整理する。
- ・ 協議会員同士で重要な海域の共通認識・情報共有を図り、各種取組の連携・重点化を模索しつつ、それぞれの立場で取組を推進する。

(作業スケジュール)

時期	作業内容
第 1 回学術調査 WG (今回)	・ 主要な協議会員（各 WG の事務局等）への事前ヒアリング実施 ・ ヒアリング結果を重ね合わせた図面の提示（次頁図 2 参照）
第 2 回学術調査 WG (11 月予定)	・ 協議会の重点取組海域（案）の提示・意見調整
自然再生協議会 (12 月予定)	・ 第 2 回学術 WG での議論を踏まえ、協議会の重点取組海域を整理

2. 協議会員による自然再生の主要な取組

①サンゴ群集の修復

サンゴ礁生態系の健全性が損なわれている海域において、自然の再生力を補助的に手助けするもの。

[取組例]

- ・ 環境省では、平成 17 年から着床具を用いた有性生殖法によるサンゴの移植を行っている。
- ・ 平成 23 年度には群集修復事業を行う上での重要海域の案を選定した。（保存区候補、再生区候補：別紙 2-1）

②赤土対策

サンゴの攪乱要因としての赤土の流出を低減するため、営農や土木工事等において、赤土等の流出防止を行う。

[取組例]

- ・ 沖縄県では今年度、赤土等流出防止対策基本計画（仮称）を策定予定。特に赤土による影響が懸念される海域を選定し、今年度から重点的にモニタリングを行っている。（赤土流出防止監視海域（案）、赤土流出防止重点監視海域（案）：別紙 2-2）

③オニヒトデ対策

特に大発生時に、効果的な駆除を行うことで、サンゴ群集への食害を低減するもの。

[取組例]

- ・ 海域対策 WG オニヒトデ小 G では各主体の取り組む駆除海域を決めている。（オニヒトデ重点駆除海域：別紙 2-3）



凡例

オオヒトデ重点駆除海域	現在・過去のサンゴ被度等による重要海域
漁業調整等実施区域	保存区候補
港湾区域	再生区候補
竹富南航路	西表石垣国立公園区域(海域)
赤土等流出防止 監視地域(案)	海域公園地区
赤土等流出防止 重点監視地域(案)	普通地域
流域界	自然環境保全地域

出典
● 漁業調整等実施区域・保護水面(沖縄県) 産卵魚の保護禁漁区(八重山漁業協同組合)
● オオヒトデ重点駆除海域: 海城対策WG(アヒト)対策グループ
● 赤土等流出防止 監視地域(案)、重点監視地域(案): 沖縄県環境保全課事業

